

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和2年7月2日（木）
- 2 確認箇所
増設多核種除去設備
- 3 確認項目
増設多核種除去設備処理水受入タンク2入口弁フランジ部からの漏えいへの対応状況

4 確認結果の概要

7月1日10時40分頃に増設多核種除去設備処理水受入タンク2入口弁フランジ部で1分に1滴程度の漏えいが確認され、フランジ部の袋養生等の措置が実施されたことから、対応状況を確認した。

なお、漏えい範囲は約50cm×50cm×1mmであり、漏えい水は堰内に留まっていることから外部への影響はない。

- ・漏えいがあった処理水受入タンク2入口弁フランジ部には袋養生が実施されていた。（写真1）
- ・また、処理水受入タンク2入口弁の上流側及び下流側の弁は、本事象を受けて「閉」操作がされており、さらに操作禁止札も標示されていた。（写真2）
- ・漏えい箇所周辺の空間線量率は約 $1.6\mu\text{Sv/h}$ であり、バックグラウンドと同等であった。（写真3）
- ・目視確認した範囲では、当該漏えい箇所周囲で新たな漏えいは発見されなかった。

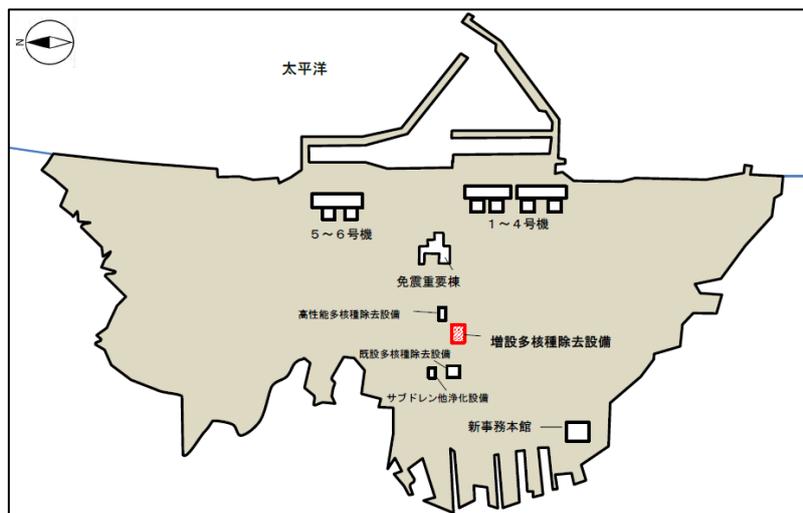


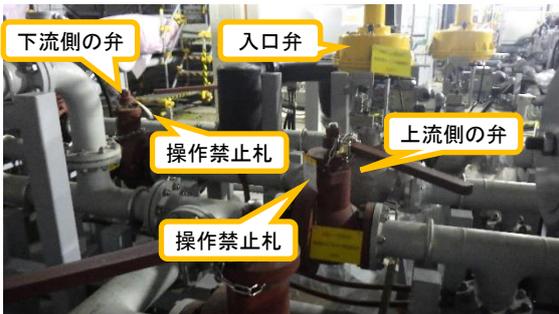
図1 福島第一原子力発電所構内概略図



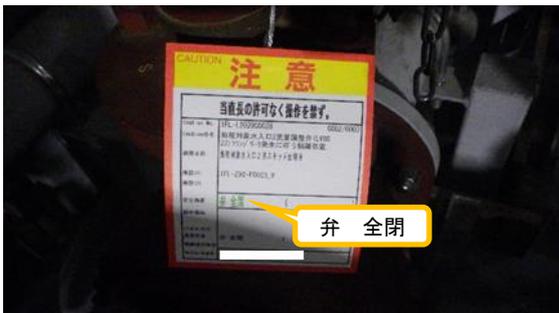
(写真1-1)
漏えい箇所の状況



(写真1-2)
養生箇所拡大



(写真2-1)
上流側及び下流側の弁の状況



(写真2-2)
操作禁止札の内容



(写真3-1)
漏えい箇所周辺の空間線量率測定結果 ($1.59 \mu\text{Sv/h}$)



(写真3-2)
バックグラウンドの空間線量率の表示 ($1.9 \mu\text{Sv/h}$)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。